

試験報告書

依頼者 明星花露水日本準備室

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 明星花露水空間スプレー

表題 殺菌効果試験

2024 年 07 月 08 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

明星花露水日本準備室

2 検体

明星花露水空間スプレー

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈する中和条件により, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)	
		開始時	10分後
大腸菌	検 体	—	<100
	対 照	7.3×10^5	7.0×10^5
緑膿菌	検 体	—	<100
	対 照	6.0×10^5	5.0×10^5
黄色ブドウ球菌	検 体	—	<10
	対 照	4.5×10^5	3.7×10^5
サッカロミセス	検 体	—	<10
	対 照	4.5×10^5	3.7×10^5
クロコウジカビ	検 体	—	<10
	対 照	3.2×10^5	3.2×10^5

<10及び<100：検出せず

保存温度：室温

対照：精製水(黄色ブドウ球菌は生理食塩水)

表-2 試験条件

	試験菌	① <i>Escherichia coli</i> NBRC 3972(大腸菌) ② <i>Pseudomonas aeruginosa</i> NBRC 13275(緑膿菌) ③ <i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> NBRC 12732 (黄色ブドウ球菌) ④ <i>Saccharomyces cerevisiae</i> IFO 1950(サッカロミセス) ⑤ <i>Aspergillus niger</i> NBRC 105649(クロコウジカビ)	
試験菌液	試験菌①及び②	前培養：普通寒天培地[栄研化学株式会社]，35 °C±1 °C，18～24時間 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁷ ～10 ⁸ /mL	
	試験菌③	前培養：普通寒天培地，35 °C±1 °C，18～24時間 菌液調製溶液：生理食塩水 菌数：10 ⁷ ～10 ⁸ /mL	
	試験菌④	前培養：Potato Dextrose Agar(Difco)，25 °C±1 °C，2日間 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁷ ～10 ⁸ /mL	
	試験菌⑤	前培養：Potato Dextrose Agar，25 °C±1 °C，7～10日間 菌液調製溶液：0.005 %スルホコハク酸ジオクチルナトリウム溶液 菌数：10 ⁷ ～10 ⁸ /mL	
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種		
保存条件	10分(室温)		
中和条件	試験菌①及び②：SCDLP培地[塩谷エムエス株式会社]で100倍希釈 試験菌③～⑤：SCDLP培地で10倍希釈		
対照	試験菌①，②，④及び⑤：精製水 試験菌③：生理食塩水		
生菌数測定	試験菌①～③	SCDLP寒天培地[塩谷エムエス株式会社]，混積平板培養法	35 °C±1 °C， 2日間
	試験菌④	GPLP寒天培地[塩谷エムエス株式会社]，混積平板培養法	25 °C±1 °C， 2日間
	試験菌⑤	GPLP寒天培地，混積平板培養法	25 °C±1 °C， 7日間

以上